



平成26年度 国土交通大臣表彰

人・車・物の情報を一元管理し、 効率配送と環境負荷を最小化した物流ソリューション

事業者（◎：代表者）

- ・ 佐川急便株式会社◎
- ・ 東武鉄道株式会社
- ・ 東武タワースカイツリー株式会社
- ・ 東武タウンソラマチ株式会社

事業概要

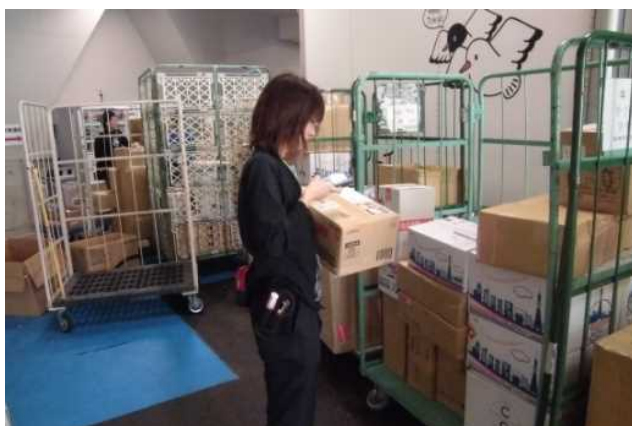
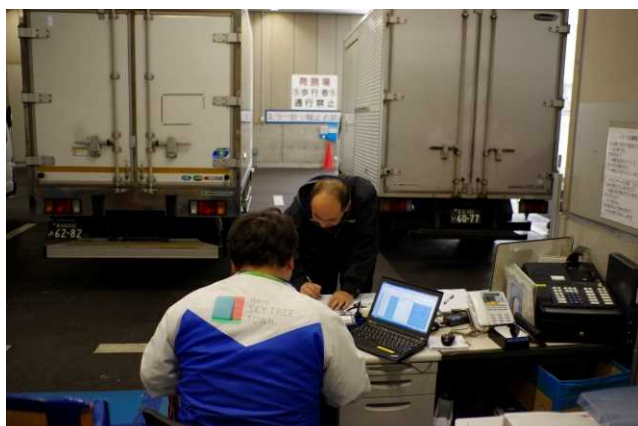
東京スカイツリータウンへの納品について、館外の施設を活用した納入代行システムを導入することで、1日あたり約850台の想定搬入車両を380台に削減し、CO2排出量の削減に成功した。

本取組のポイント

- 納品車両を事前許可申請制にすることで、納品に係る車両や商品の情報を一元管理し、館内物流の効率的な運用を実現した。
- 外部の物流集約センターを活用して共同輸配送を行い、納品車両を大幅に削減することでCO2排出量の削減と周辺道路の混雑解消を同時に実現した。

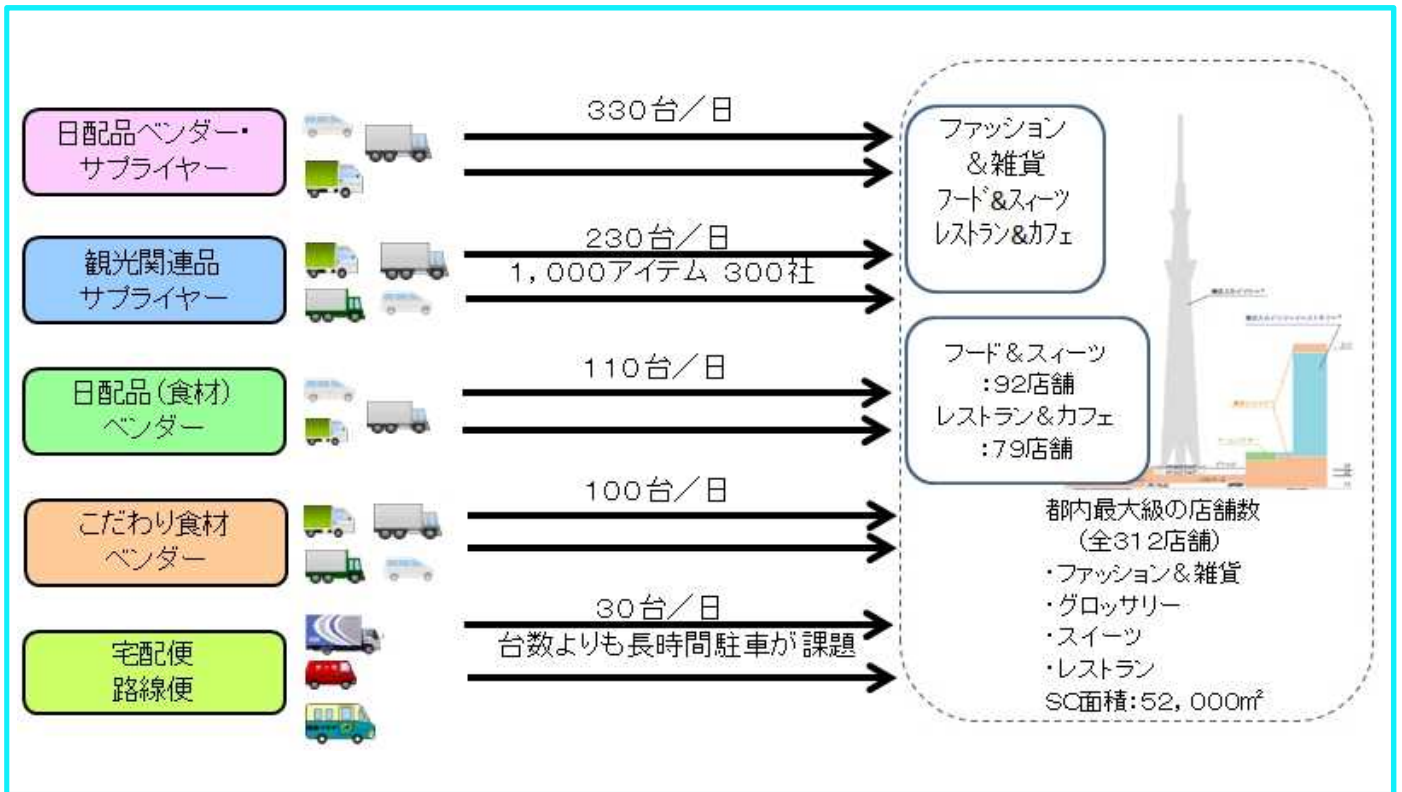
◎ CO₂排出削減量 741.0トン

◎ CO₂排出削減率 22.6%

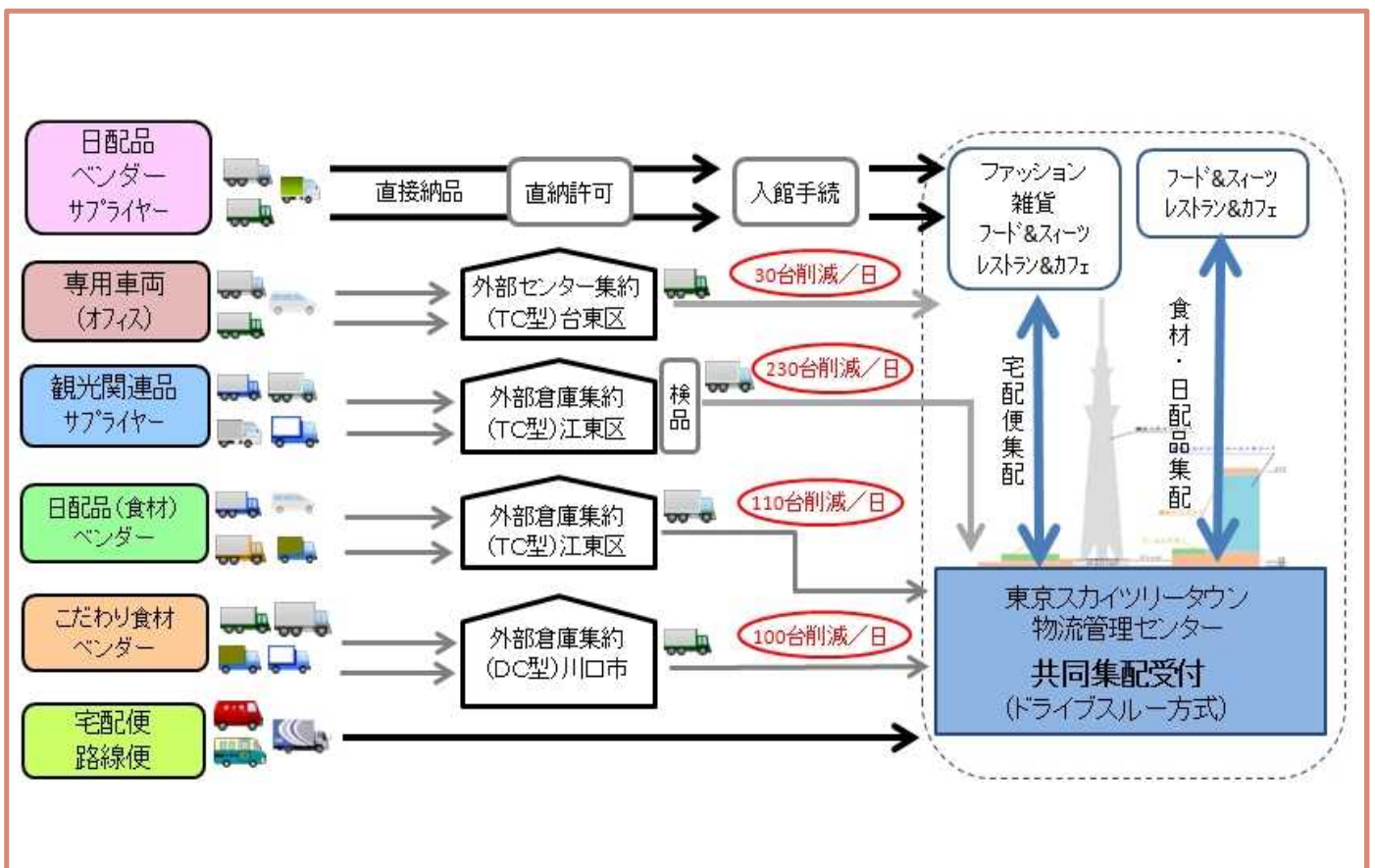


情報の一元管理と共同輸配送により、納品車両を大幅に削減

実施前



実施後





平成26年度 国土交通省大臣官房物流審議官表彰

鉄道・船舶併用型モーダルシフトによる、環境に配慮した顧客納品の実現
～小売・メーカー・配送事業者、垂直型パートナーシップによるグリーン物流～

事業者（◎：代表者）

- ・ 神戸モーダルシフト推進協議会◎
- ・ 王子運送株式会社
- ・ 全国通運株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社
- ・ ネスレ日本株式会社

事業概要

ネスレ日本株の全国3工場から顧客への配送について、トラック輸送から鉄道と船舶を利用した輸送に一部切り替えることで、CO2排出量の大幅な削減に成功した。

本取組のポイント

- 納品先顧客と連携して早期の数量確定を実現し、鉄道・船舶両方のモードを利用したモーダルシフトを実施した。
- モーダルシフトと同時に、工場から着荷主へ製品を直送することで配送車両の削減も実現した。

◎ CO₂排出削減量 1,208.4トン

◎ CO₂排出削減率 86.5%



早期の数量確定を行うことで、モーダルシフトを実現

実施前



1. ネスレ日本工場から、全国13カ所の倉庫へトラックでの補充を実施
2. ネスレ日本倉庫から、納品先顧客からの直前発注に対応した配送を実施

実施後



1. ネスレ日本と納品先顧客で、事前に発注数量確定の商談を実施
2. 商談での確定数量をベースに工場発の車両手配を実施
3. 各納品日にあわせて、直接配送を実施。これにより、モーダルシフトに加え、使用車両数の削減も実現。



平成26年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

日本製紙株式会社石巻工場の復興時での側線レイアウト変更 及び古紙納入時でのトラックからJRコンテナへのモーダルシフトによるCO2削減

事業者（◎：代表者）

- ・ 古紙輸送モーダルシフト推進協議会◎
- ・ 南光運輸株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社
- ・ 日本製紙株式会社

事業概要

東日本大震災で被災した日本製紙石巻工場の復興にあたり、工場内のレイアウト変更とJR貨物石巻港駅の整備を実施した。これにより、関東圏から石巻工場へ輸送する古紙のモーダルシフトを実現した。

本取組のポイント

- 東日本大震災で製造拠点や物流網が壊滅的な被害に遭った中、復興にあたって工場のレイアウト変更や貨物駅を整備することにより、従来行っていた鉄道輸送をさらに発展させ、往復のモーダルシフトを実現した。
- 東北地方における復興需要等によりドライバー不足が懸念される中、大量輸送機関を活用することで労働力不足対策にも寄与した。

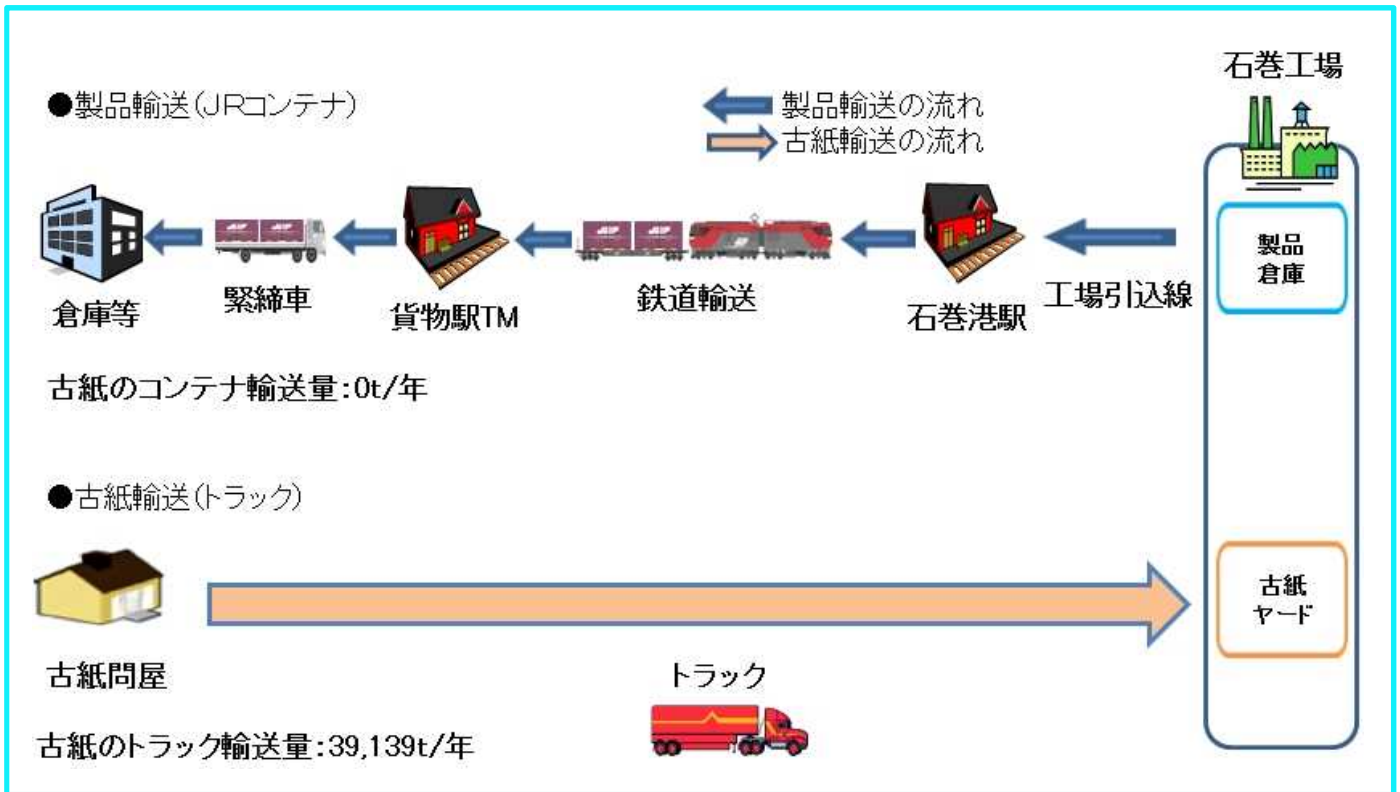
◎ CO₂排出削減量 1,752.3トン

◎ CO₂排出削減率 56.1%

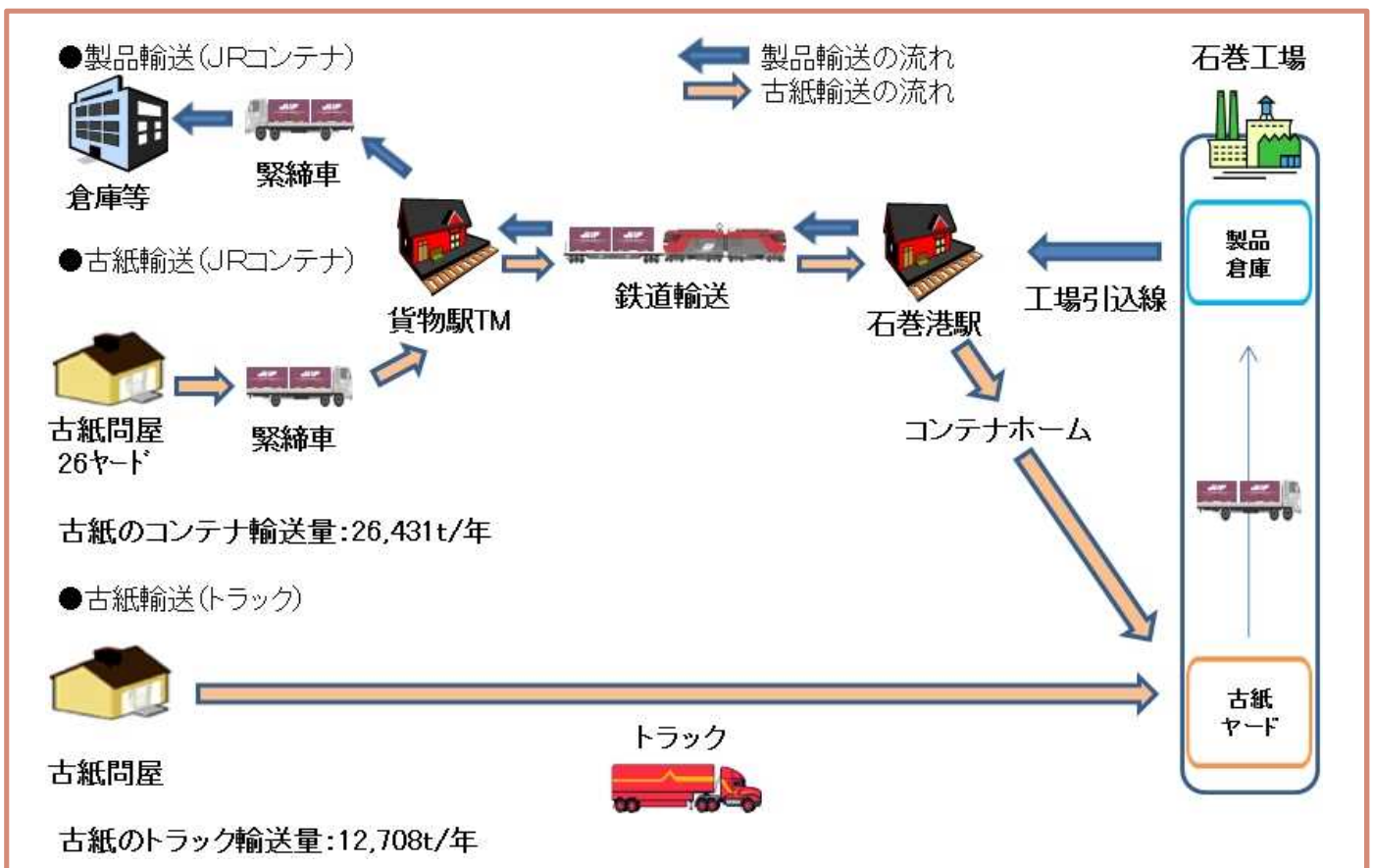


石巻工場の復興にあたり、古紙輸送のモーダルシフトを実現

実施前



実施後





平成26年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

廃棄物往復輸送の取組による木質バイオマス燃料モーダルシフトの推進

事業者（◎：代表者）

- ・ 北海道ジェイアール物流株式会社◎
- ・ 株式会社北海道熱供給公社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社

事業概要

函館へ鉄道輸送している燃料焼却灰の返送の空コンテナを活用して、CO₂の排出を抑制しながら地域への熱供給に利用する木質バイオマス燃料を調達する輸送システムを構築した。

本取組のポイント

- 従来利用された例のなかった廃棄物コンテナの返送空コンテナを活用し、モーダルシフトを行った。
- 鉄道輸送としては比較的短距離となる札幌～函館間で、往復のモーダルシフトを実現した。

◎ CO₂排出削減量 655.7トン

◎ CO₂排出削減率 97.5%



廃棄物コンテナを活用し、木質バイオマス燃料を鉄道輸送

実施前



実施後

